

長沼町議会・岩瀬村議会を 開催

長沼町議会十二月定例会は、昨年十一月九日から十七日まで、岩瀬村議会十二月定例会は、昨年十一月十日から十六日まで、それぞれ開催されました。

その中で出された一般質問の中から、合併に関するものを紹介します。

●地域審議会について (質問事項)

◆合併前の長沼町の区域を対象として「須賀川市長沼地域審議会」を設置します。地域審議会の設置期間は、平成十七年四月一日から十年間であり、市長の諮問に応じて、新市建設計画の変更に関する事、新市建設計画の執行状況に関する事、新市の基本構想の作成及び変更に関する事などを審議し、市長に答申します。また、必要と認める事項について意見を述べることも

できます。

委員は、任期二年であり、長沼区域に住所を有する「市政」に関心を持つ市民や「各種団体の代表者」など十五名程度で構成します。(岩瀬村も同様の取り扱いとなります。)

●住所表示の変更に伴う 助成制度について

◆今年四月一日の合併に伴い、現在の住所から「岩瀬郡長沼町」と「大字」を削除し、「須賀川市」と表記することとなります。(市議会十二月定例会で議決しました。)

その変更により、現在それぞれ個人が有する届出書類などの変更手続きは、ほとんどのもので不要です。

また、最近の住所変更例としては北会津村、近隣では鏡石町がありますが、いずれも助成制度は行っていません。こうした事例などを踏ま

えると、住所表示の変更によって生じる費用については、必要に応じて住民個人の負担によるべきものと考えられることから、助成制度は行わない考えです。(岩瀬村も同様の取り扱いとなります。)

合併をスムーズに進め、一日でも早く、地域住民の皆さんが新市住民として一体感が生まれるよう、今後も三市町村共通の情報提供に努めていきます。

県議会で議決された他の合併地域

須賀川市・長沼町・岩瀬村の合併と同様に、県議会12月定例会において、次の2つの市町の合併についても議決が行われました。

これにより、県内の市町村数は81となります。

○田 村 市 (たむらし)

- ・構成市町村 滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町
- ・合併期日 平成17年3月1日
- ・人 口 43,923人

○会津美里町 (あいづみさとまち)

- ・構成市町村 会津高田町、会津本郷町、新鶴村
- ・合併期日 平成17年10月1日
- ・人 口 25,314人

※人口は、平成16年11月1日現在福島県現住人口調査月報より

ホームページをご覧ください

須賀川市と長沼町と岩瀬村のこれまでの合併協議について、会議資料や会議録などは、協議会のホームページでご覧いただけます。

(HPアドレス)

<http://www.gappei-net.jp/>

合併協議会事務局でも、これまでの会議資料や会議録が閲覧できます。



ポータン

問い合わせ先

市町村合併についてのご質問やご意見などは、こちらへお寄せください。

須賀川市・長沼町合併協議会事務局
須賀川市・岩瀬村合併協議会事務局
〒962-0841 須賀川市上北町1-3
TEL63-7710・63-9070/FAX72-1499

須賀川市・長沼町・岩瀬村

● 第1号 ●
平成17年1月発行

合併準備だより

発行・編集 須賀川市・長沼町合併協議会 TEL0248-63-7710/FAX0248-72-1499
須賀川市・岩瀬村合併協議会 TEL0248-63-9070/FAX0248-72-1499



力を合わせて餅つき大会 (和田幼稚園、須賀川市)

迎春

県議会で須賀川市・長沼町・岩瀬村の合併を議決

昨年十二月十七日、福島県議会十二月定例会において、須賀川市と長沼町、須賀川市と岩瀬村の合併について、それぞれ議決され、同日二十日、知事は合併の決定を行い、総務大臣へ合併を届け出ました。

今後、総務大臣が官報により告示を行い、四月一日に合併を迎えることとなります。

今年は、歴史的な一年となりますが、新須賀川市は、合併後の八万市民のしあわせ実現に向け、まちづくりを進めていきます。

CONTENTS

- 県議会の議決について p 1
- 須賀川市議会12月定例会について p 2
- 施設の名称変更について p 3
- 長沼町議会・岩瀬村議会12月定例会について p 4

合併に関する質問事項

須賀川市議会の十二月定例会において、今回の合併に伴う関連議案五十件が議決されました。
内容は、新市の職員定数を定めるものや、字名変更、各施設の名称変更などについてです。
また、合併に関連する一般質問が出され、今回、その中から主なものを紹介します。

須賀川市議会にて合併関連五十議案を議決

須賀川市議会の十二月定例会は、昨年十二月二日から十六日まで行われました。その中で、市町村合併に関する議案は五十件あり、すべて議決を得ました。
その内容は、次のとおりです。(〇の数字は件数です。)

- (提出案件)
- 一 職員定数①
 - 二 字の名称の変更②
 - 三 支所及び出張所等③
 - 四 奨学資金②
 - 五 宅地造成及び財産区③
 - 六 市税及び諸収入金③
 - 七 公営住宅①

- 八 公共下水道及び農業集落排水事業⑤
- 九 水道事業及び簡易水道事業⑦
- 十 消防団①
- 十一 安全で住みよいまちづくり①
- 十二 国民健康保険③
- 十三 土地改良事業①
- 十四 各種施設⑨
- 十五 学校等⑦
- 十六 介護保険①

須賀川市議会での質問事項

十二月定例会の中では、一般質問がありました。市町村合併に関して出された質問は次のとおりです。

(質問事項)

●市町村合併に伴う(仮称)総合福祉センターについて

◆(仮称)総合福祉センターについては、場所の選定、規模とも、また検討していませんが、新市建設計画の前期計画として位置づけ、社会福祉の拠点となる予定です。

現時点では、子育て支援や障害者支援、高齢者生きがい支援、社会福祉関係団体などが活動でき、意見交換や研究などができる場となるように考えています。
また、事業費は、合併特例債などを活用しながら、二十億円程度になる見通しです。

●合併特例債について

◆須賀川市と長沼町と岩瀬村が合併した場合の合併特例債は、使える限度額が(〇三億円)となります。このうち約六割となる一億二億程度を、新市の建設に活用して

「合併特例債」とは、合併特例法の期限までに合併した市町村が活用できる有利な起債のことです。



ゆーりん

●合併後の組織機構について

◆合併後の組織機構については、簡素で効率的な組織を作り上げていきます。

住民サービスに直接影響のない総務や企画などの部局は、本庁(現在の須賀川市役所)へ統合するなど一本化を図ります。

また、現在の長沼町、岩瀬村の役場を支所とし、必要な課をもうけて住民サービスに努めます。

それぞれの支所には、管理課を設け、効率化とサービス化を考慮した組織体制とします。

なお、支所の職員配置については、本庁と支所の事務量の低下を招かないような配置を検討していきます。



▲合併後も住民サービスに努めていきます

合併に伴う施設の名称変更について

合併に伴い、平成17年4月1日から名称変更となる主な施設についてご紹介します。(下の一覧表参照。)
基本的に、現在の長沼町及び岩瀬村の施設が、名称変更されます。(注1)

原則として、現在の須賀川市の施設は、名称変更がありません。



ポータン

主な施設の名称変更について

	合併後の名称	合併前の名称	
長沼	庁舎	須賀川市長沼支所	長沼町役場
		須賀川市長沼支所梓衝出張所	長沼町梓衝出張所
	福祉	須賀川市立長沼保育所	長沼町立長沼保育所
		須賀川市立長沼東保育所	長沼町立長沼東保育所
		須賀川市長沼老人福祉センター	長沼町老人福祉センター
		須賀川市長沼保健センター	長沼町保健センター
	教育	須賀川市立長沼小学校	長沼町立長沼小学校
		須賀川市立長沼東小学校	長沼町立長沼東小学校
		須賀川市立長沼中学校	長沼町立長沼中学校
		須賀川市立長沼幼稚園	長沼町立長沼幼稚園
須賀川市長沼公民館		長沼町公民館	
須賀川市長沼図書館		長沼町図書館	
須賀川市長沼学校給食センター		長沼町学校給食共同調理場	
岩瀬	庁舎	須賀川市岩瀬支所	岩瀬村役場
		須賀川市立岩瀬保育所	岩瀬村立岩瀬保育所
	福祉	須賀川市いわせ老人福祉センター	岩瀬村老人福祉センター
		須賀川市いわせ在宅介護支援センター	岩瀬村在宅介護支援センター
		須賀川市いわせデイサービスセンター	岩瀬村デイサービスセンター
		須賀川市いわせ保健センター	いわせ保健センター
	教育	須賀川市立白方小学校	岩瀬村立白方小学校
		須賀川市立白江小学校	岩瀬村立白江小学校
		須賀川市立岩瀬中学校	岩瀬村立岩瀬中学校
		須賀川市立白方幼稚園	岩瀬村立白方幼稚園
		須賀川市立白江幼稚園	岩瀬村立白江幼稚園
		須賀川市岩瀬公民館	岩瀬村公民館
		須賀川市岩瀬図書館	岩瀬村図書館
		須賀川市岩瀬学校給食センター	岩瀬村学校給食センター



▲現在の長沼町学校給食共同調理場



▲須賀川市立博物館(現在、須賀川市歴史民俗資料館が併設しています)



▲現在の岩瀬村立岩瀬中学校

(注1) 現在、須賀川市池上町にある「須賀川市歴史民俗資料館」については、併設している市立博物館に統合廃止し、現在の「長沼町歴史民俗資料館」を「須賀川市歴史民俗資料館」と名称変更します。